平成29年度第1回笛吹市石和町地域審議会会議録

開催日時

平成29年6月2日（金）午後4時00分～

開催場所

市役所本館　301会議室

出 席 者

・地域審議委員

藤原委員、小澤委員、藤江委員、竹内委員、赤岡委員、若杉委員、米山委員、武川委員、杉原委員、岩野委員　計10名

・山下市長、小澤総務部長、深澤経営政策部長、小宮山経営企画課長、保崎経営企画課政策推進担当

・事務局　須田総務課長、茂手木総務課総務担当L、吉田総務担当

欠 席 者　なし

傍 聴 人　なし

次　　第（進行：総務課長）

1.開会（総務課長）

・互礼により開会

2.委嘱状交付

・市長より委嘱状を交付（10名）

3.役員選出（選任前に委員、職員自己紹介）

・小澤委員より、事務局案を求められる。

・事務局案として、会長に竹内委員、副会長には藤原委員を提案。

・全委員より承認を得る。

4.会長あいさつ

皆さまから承認をいただき、前任期に引き続きということである。

大変不慣れだが、市長に意見の出来る数少ない機関なので、皆さまに協力いただき進めていきたいので、協力願う。

5.市長あいさつ

大変忙しい中、地域審議会へ出席いただき感謝する。また、会長、副会長よろしく願う。

いくつか報告や説明をする。市長就任後、議会等に三つ提案をした。一つはNTT用地。すでに報道等でご承知かと思うが、契約を交わした。金額面についても精査し、議会からの幾つかの課題についても、一つ一つすり合わせ対応ができた。ただ、

多くの方から注目されている。
活用策については、1 年～2 年をかける中で、多くの意見を聞き、ワークショップなども開催しながら、よりよい活用を検討したいと考えている。ただ、その間も利用する予定なので、6 月議会には整地や管理に関わる補正予算を計上をする予定。利用することでイメージも沸くので、秋にはワイン祭りを計画しており、民間の方に多く利用していただきたい。
次に、都市計画税については、本来 4 月 1 日からの課税だったが、議会でも多く意見をいただいているので、再度、1 年間良く研究をするということになった。来年の 4 月にどんな結果が出るか未定だが、皆さんから多くの意見を聞ければと思う。この二点が大きな柱。
もう一点は、支所のあり方について。石和以外の地区では、大きな議題となっている。現在、支所の職員は 10 名程。これをこの 4 月から各支所 1 名ずつ減らす方針だったが、地域では人が減ることへの懸念が多くあるということなので、改めてパッケージの中身について検討している。
次に、ハートフルタウン笛吹について話します。
ハートフルタウンとは、とにかく市民に優しいまちを創ろうという想いを込めたメッセージです。
資料は、ハートフルタウン笛吹の構成である三つのセクション「1.幸せ実感」「2.新たな農業」「3.観光再生」から、予算面も含め、より分かり易く説明ができるような内容になっている。
まず、幸せ実感、安心安全の確保について。
災害は、いつ、どんな形で起こるかわからないので、備蓄品の整備を行なう。これまでのものを再度見直し、しっかりした備えをしていく。
次に、出張所庁舎整備は、消防本部の 3 箇所ある出張所を、2 箇所(一宮、境川)に再編する。
次に、防犯灯の設置維持管理は、電気料金が三分の一程度に減額される LED への交換事業。若干ではあるが前年度に比べ多く予算を計上した。
次に、市営住宅四日市場団地事業。これは四日市場、広瀬、市部地内にある団地が非常に古く、耐震もされていないことから、一団地に再編統合するも。広瀬と市部地内の土地は、売却も含め活用については考えている。
次に、有料指定ごみ袋については、有料化から 1 ヶ月が経過したが、焼却費がこれまでより概算で 2 割減となった。また、可燃ごみ袋 30 円では近隣市より高くなるが、不燃・粗大ごみは無料で収集している。しかし、他市は可燃、不燃、粗大それぞれの種類に料金が発生するので、決して笛吹市が他市より高くはないことを改めて理解願う。
次に、子育て支援については、お母さん世代もスマートフォンやタブレット世代なので、クラウド化し、情報を集めて発信していこうとするもの。
学校給食センター建設事業については、石和の 5 小学校についてもいよいよ実施していく。建設場所は砂原橋左岸の増利地区を予定している。

次に、新たな農業について。世界農業遺産への登録はならなかったが、日本農業遺産の称号を得たので、笛吹は素晴らしいものを作っている、そういう PR を存分にしていく。

次に観光再生については、個人又は少人数で訪れる外国人をターゲットに富士河口湖町と連携を取り、誘客に力を入れていく。また、石和温泉街の桜が老木となってきたので、計画的な植え替えにも着手する予定。オリパラ関係では、タイ王国のウエイトリフティングが、今年の夏に市内に 1 ヶ月間の合宿地として訪れる予定なので、観光、農業をタイの方に大いに PR し、今後の誘客に繋げていく。

今ある資源を存分に利用し、光を当てながら、笛吹物語 PROJECT と銘打ち取り組みを進めていく。団体客がメインであった石和温泉から脱却をし、目指す方向を変えなければ厳しい状況は変わらないと思っている。春の花、夏のフルーツ、そして秋に川中島合戦を行い、年間を通じての誘客数の増加に力を入れていく。四季を通じて目的地になる笛吹市を作っていこうとするもの。

その他に、現在、市内(境川、御坂)では大きな企業が進出している。それぞれに雇用が見込まれており、今後は企業立地にも力を入れていく。

快適な生活基盤ということで、NTT グラウンド跡地の関係で労報橋の整備を行っていく。

長くなったが、資料を基に市政の一端ではあるがお話させていただいた。皆さまには多くの意見やご指導をいただきたい。よろしく協力願う。以上あいさつとする。

6.議事(進行：会長)

(1)　市長との意見交換

（委員）

現在、町内で問題視されているのは道路。郵便局前道路が非常に狭く危険であることが一つ。また、深雪温泉から慶山までの観光のメイン道路ともなりうる道路が狭すぎるということ。市では観光面に力を入れているとは思えない。県や国へ働きかけるなど出来るところからしていただきたい。基盤整備は行政の努めであると考える。

（市長）

承知している話です。都市計画道路や NTT 用地を起爆剤に周辺整備をしていかなければならないと思っている。努力させていただく。

（委員）

一つの例としてお話しする。私は富士見地域に住んでいる。過去、水害に悩まされた地域である。こういったことから、地元では関係機関へ働きかける会が発足されている。会の努力や市の理解により、求めていた河川等整備が着工となる。言いたいのは、地域だけの問題ではなく、問題を表に出し市と一緒に考えることが重要であるということ。

（市長）

関連で、制度上はあったが国や県の事業であり市の財源負担を避けていた経過が

ある。今後も有利な補助制度を活用し事業を進めていく。それには、地域の理解、盛り上がりも非常に重要な力となる。

（委員）

地域の理解と盛り上がりが重要なことは理解しているが、行政区では、区や組に入らない方が増えている。行政区だけで解決できる問題ではないように思えるし、そうなると地域の盛り上がりにつながらないように感じている。これらについて行政区だけに任せておいては解決には繋がらない。

（会長）

先日の災害時用援護者に関する説明会でも同様の問題が提起された。

（市長）

行政側から区に入りなさいと言うのは、なかなか難しい問題である。

（委員）

住んでいる地域が属する行政区であることを理解してもらえるよう、市からも助言や補助を願う。

（市長）

この場では結論が出ないので、研究させていただく。

（委員）

要支援者台帳に関する説明会に出席した。説明は立派だったが、台帳の内容を見ると、組や区に入らない方まで名簿には載っていた。普段、区に対して非協力的な方だと心情的に…。

（会長）

区長の立場で説明を聞いてしまうと、おっしゃる通り歯がゆさを感じてしまうと思う。ただ、行政としても説明に限界があるのではないかとも思える。

（委員）

話は変わります。駅北口ですが、非常に閑散としている。商店が並ぶわけでもないし仕方ないのかとも感じる。北口方面には農業地が多く、立場上難しいが、市の発展のためには山沿いの土地を利用すべきではないかと思う。北口の上手な利用がカギになると思う。

関連して、現在、ホテル・旅館の送迎で南口をメインとして利用しているが、北口を発着とすることで、利用価値が出てくるのではないか。それと、ごみ袋の件である。国道通り沿いのイチョウの葉を地元で処理している。県でも地域美化への協力負担をしていただけるよう働きかけをすべき。

（市長）

すでに旅館組合に対して北口発着は呼びかけている。加盟旅館・ホテルばかりではなく、市内全体施設への呼びかけも考えている。併せて、送迎で南口と北口を分けてはどうかと言う提案もしている。

（委員）

一つ確認したいことがある。駅の話が出たからだが、6 月に駅前交番が開所した。富士見の駐在はいつ訪ねてもいない。地域の巡察で留守であろうかと思うが、地域

住民としては不安である。暴力団事務所がある地域でもあるし、人的補助で対応していただきたい。こういった話はどこにしたらいいのか。

（市長）

県警に打診してみる。要望事項として承る。

（委員）

交番は 24 時間体制になっている。改革時には、そう言ったあたりも地域の実情に合わせて検討することも大事であると思う。

（委員）

消防団の立場からお話させていただく。団員確保には区長をはじめ協力いただいていることに大変感謝している。これは個人的な発想であるが、区内において団員には何か特典をお願いできればと思っている。団員確保への一助になると考える。ぜひ、区内において検討していただけるようお願いしたい。

（委員）

駅前の区画整理であるが、行政ではどういう方向で整備したか、また、その方向に見合った状態なのか。

（会長）

先ほどの消防団の関係で、市長何か。

（市長）

これは良く考えさせていただきたい。ただ、実施予定の特典事業もある。加盟店に限り団員証の提示で 5%OFF など。また、取り組みの一つには団員を対象とした婚活事業も予定しているところである。

～　市長、総務課長、経営企画課長退席　～

(2)　その他

（会長）

大変活発な意見が出ている。市長は公務により退席となったが、総務部長、経営政策部長が残られている。当然、ここで出た意見等も市長に通じるものであるので、続けて「7 のその他」に入るが、よろしくお願いしたい。

（委員）

これまで何度と無く話をしているが、街路灯の件である。駅前通りは電気代無料、市部通りは個人負担。不思議ではないか。不平等しか感じない。

（経営政策部長）

街路灯、防犯灯の違いでその後の対応も変わってきている。

（総務部長）

整備した時の経緯や事情があり、すべてを一緒に考えることは現状難しいように思える。ただ、おっしゃることも分かるので、今お答えは出来ないが、今後、庁内において検討する。

（委員）
関連で。駅前の区画整理された中は、すべて地元地権者や関係する個人の負担となっている。当時も諸事情はあったかもしれないが、区画整理に該当した個人だけでは大変な負担となるであろうことから、将来的に是正していただけるよう願う。
（総務部長）
先ほどの話同様、庁内において検討させていただく。
（委員）
公民館のことで一つ。公民館が老朽化している。増改築などは区だけで対応しなければならないのか。
（総務部長）
新築、建替えに関する助成事業は国と市にあるが、市においても改修費などの助成事業は残念ながら無い。行政区運営交付金の活用をお願いしている。
（委員）
現在、農地が宅地化し農地が減少している。ハートフルタウンの資料の中にもある「新たな農業」への対応は。
（総務部長）
農地の転用には計画や規制がある。
市では、新規就農者への補助施策にも取り組んでいる。荒廃地を増やさない取り組みにも力を入れながら全体としての対応に努める。
（委員）
農業委員制度が改正となり、農業委員が半数になった。新制度の中で役割を担う方がいる。その方々の活用が重要となってくる。
（会長）
私の役割となっている次第「7　その他」までが終了した。市長には本日のように、時間の許す限り会へ出席いただけることを今後も願う。
（総務部長）
市長は市民ファーストを掲げている。内容は、行政側から決まったことを伝えるのではなく、素案を示し皆さんからの意見を伺う。それを持ち帰り更に施策に反映させる。こういったスタイルで進んでいくので、ご理解、ご協力を願う。
（委員）
多くの課題で行政区長と担当者では話が通じる状態にある。市の幹部の方には、課員からの話を吸い上げる体制づくりをお願いしたい。

7. 事務連絡（進行:事務局）
（総務部長）
都市計画税に関わる件と支所のあり方について、本日は資料をご覧いただくに留まったが、次回審議会においてお話をすることでご理解願う。
（事務局）
地域審議会条例についてとこれまでの審議会の経過について資料を基に概略説

明。

9.閉　会（事務局）

互礼を交わし終了（午後5時40分）